

タイ労働安全衛生促進協会（SHAWPAT）主催のヴィジョン・ゼロセミナーの概要

タイ労働安全衛生促進協会（[SHAWPAT](#)）は、近年、ヴィジョン・ゼロ運動を積極的に推進しており、関係各国・機関に呼びかけてタイ・バンコクにて 2018 年 9 月 13 日にヴィジョン・ゼロ セミナーを開催しました。中災防からも職員が参加しました。その概要を以下に示します。

（参考リンク）

[タイ労働安全衛生促進協会（SHAWPAT）主催のヴィジョン・ゼロ セミナー](#)
[タイ労働安全衛生促進協会（SHAWPAT）のヴィジョン・ゼロの WEB サイト](#)

○ ILO・ROAP（ILO アジア太平洋総局）専門家より

ヴィジョン・ゼロは、2013 年に起こったバングラデシュの縫製工場ビルディングの倒壊で約 1,000 人の労働者が死亡したことを受け、取組みが始められた。これは、労働基準が守られていない企業と取り引きすることは、先進国の企業に対する批判を惹起する（貿易と労働基準の議論）ため、発展途上国の労働安全衛生水準を引き上げることを目的にドイツを中心に提案されたものです。ISSA（国際社会保障協会）は、このような取組みを推進するための基金の造成に協力するよう関係方面に依頼を行っているようです。

なお、ISSA は、ILO とは独立の国際機関である。ILO との棲み分けは不明ですが、社会保障問題だけでなく労働問題にも取り組んでいます。関係性としては、ともに労働問題を扱っているため、協力関係にあるという程度です。ヴィジョン・ゼロに関しては、ILO は積極的に関知していないと承知しています。

○ タイ SHAWPAT より

ヴィジョン・ゼロには 7 つのルールの下に 110 のサブ・ルールがあるが、実施企業がすべての条件を満たさなければならないというわけではありません。半分程度のルールを満たすということでもよいのではないのでしょうか。最初は緩やかな条件で大企業を中心に始める予定です。

ヴィジョン・ゼロは、「すべての災害は防ぐことができる（Every accidents are preventable）」、「世界中の労働は災害フリーにすることができる（We believe that world at work without accident is possible）」をスローガンに、2016 年に導入しています。

2016 年 7 月 タイ安全週間に ISSA マイニングのスタッフに講演を依頼
ヴィジョン・ゼロ導入

2016年9月 ヴィジョン・ゼロ コンファレンス

2017年9月 ヴィジョン・ゼロ コンファレンス

ヴィジョン・ゼロ運動の実施日程は以下の通りです。

14の大企業で7つのルールを導入し、関連企業に広がります。

労災保険財政を利用して、中小企業プロジェクトを実施します。

中小企業が SHAWPAT と MOU（了解覚書）を締結します。

中小企業指導者に対する教育訓練を実施します。

中小企業管理者が自己評価を実施します。

中小企業による自己評価を外部コンサルタントが再評価（review）します。

外部コンサルタントが中小企業を訪問し、アドバイスをを行います。

選定された中小企業に対し、表彰を行います。

（2018年12月までにここまで実施）

（参考）7つのルール

リーダーシップとトップの関与

ハザードの特定とリスク・コントロール

目標の設定

安全衛生システムの構築

器械設備と職場の安全衛生

資質と競争力の向上

人的資源投資と労働者の参加

○ シンガポール人的資源省より

シンガポールは2015年からヴィジョン・ゼロを実施しています。ただし、ISSAのヴィジョン・ゼロは煩瑣なので、独自のルールを設定していません。

「すべての災害は防ぐことができる（Every accidents are preventable）」をスローガンにして実施しています。「災害をゼロにする」という統計的な目標よりも高い目標です。ヴィジョン・ゼロは、到達地点（destination）ではなく、前進し続ける過程（on a going journey）です。

○ 香港職業安全健康局より

ISSAのルールに従ってヴィジョン・ゼロを実施しています。10月にISSA事務局長のコンコレフスキー氏を招聘する予定です。

従来実施してきた中災防提唱の日々の労働安全サイクルに加えて、ヴィジョン・ゼロを実施することになります。

○ ISSA マイニング（Mining、鉱山）事務局長ヘルムート氏より

多くの人にとって労働は夢でなければならないのに、苦痛になっているのが現状であります。また、死亡災害も起こっています。それなのに、多くの人が労働災害が起こることを当たり前だと考えています。バングラデシュでは1,000人の労働者が死亡し、天津の化学工場では800人の労働者が死亡しました。インフォーマル・セクターの労働者も忘れてはなりません。すべての労働者が毎日安全に、そして健康に帰宅できなければなりません。安全、健康、幸福が3つの柱です

ヴィジョン・ゼロのルールは、現在、[10か国語に翻訳](#)されています。現在、全世界で、[1,000企業、500協賛団体、500教育訓練機関が参加しています](#)。

労働災害を30%低減することが目標です。





(関係記事)

2018年8月30日 [ISSA 及びビジョンゼロについて](#)

2017年10月24日 [第21回世界労働安全衛生会議\(2017年シンガポール\)の会議概要](#)